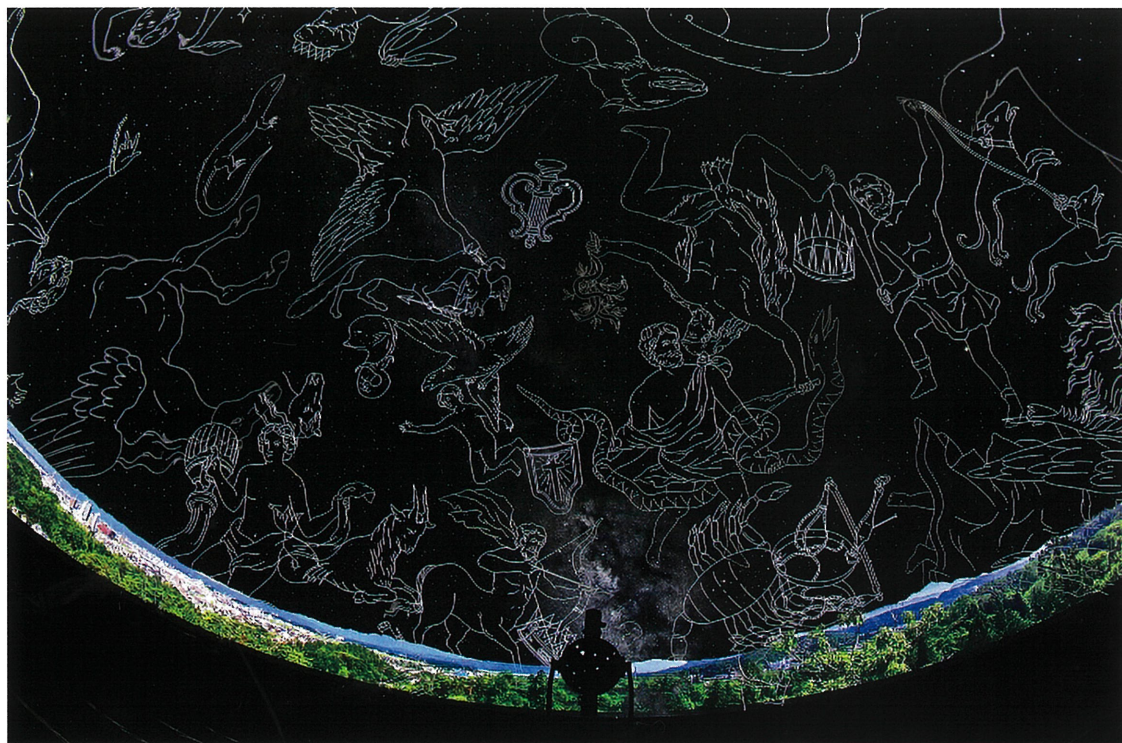


柏崎市立博物館友の会 ◆〒945-0841 新潟県柏崎市緑町8-35 赤坂山公園内 TEL 0257-22-0567

博物館 **モノ** がたり

星空と暮らしとプラネタリウム —見上げ方は、十人十色—



昭和61年(1986年)7月の開館当初から、当館にはプラネタリウムがあります。今回はプラネタリウムが映し出す星空に注目してみましょう。

天文学というと、物理学や数学の世界＝難しそう…と思っていませんか？実は私もそう思っていました。しかし、人類が誕生したはるか昔から星空は存在したわけですから、星は生活の中にあったといえます。私たちの先祖は星空を見上げ、方角や時刻、季節の移り変わりを知る手段としました。星の位置から種まきや収穫の時期を知り、星の瞬き方から天候を予測しました。神話の神々や動物に見立てられた西洋星座とは異なり、日本では星の並びが生活で使う道具に見立てられることが多く、独自の星の名や伝承も各地に残されています。

文学や歴史史料にも星空はたびたび登場します。清少納言の『枕草子』には「星はすばる」という有名な一節がありますし、藤原定家の『明月記』には天喜2年(1054年)に出現した超新星爆発(星の最期に起きる大爆発)の記録があります。身近なところでは、渡部勝之助の『柏崎日記』に星や月を日々見上げる様子のほか、天保14年(1843年)の大彗星出現について「細長き白き雲のようなもの」「白気(はっき)と見へ候」と綴られています。

見上げれば、星空はいつも変わらずにあります。そして、私たちの生活と結びついています。自然科学が好きな人、文学や歴史が好きな人、星をただ眺めたい人、リラックスしたい人。プラネタリウムでは、思い思いの星空をお楽しみいただけます。

(早川 美奈子 学芸員)

田村光一さんのそば打ち道場

3月18日(水) 9時～12時 参加者11名



昨年初めて参加し、その旨さに感激しました。二度目なので少しは手際よくなったと思いますが、やはり練りと水加減が難しかったです。今年も茹で方に気を付けて美味しい蕎麦を味わいたいと思います。

(会員 増田寿弘さん)

布ぞうりづくり

3月19日(木) 9時～15時 参加者9名

その昔、子供時代、祖母や母の草履を履き、鼻緒を伸ばしてはよく怒られ、履くことを禁止されました。でも草履から伝わる地面の感触と履き心地がたまらなくよく、やめられなかったことを思い出し、作った草履をスリッパ替わりにしてみようと思い立って参加した次第です。

予め頂いた作業工程説明図面表を見ながらロープに巻き付けていくのですが、余りにも複雑すぎて四苦八苦でした。折り込みの力加減と織り込んだ布が足りなくなったら端を継ぎ足すのに針作業が不可欠で、皆さんに助けて頂いた次第です。

最後に編み絡ませていたロープを一本ずつ引くと見事に完成し唖然としてしまいました。

持ち帰り、大きさが不揃いの布ぞうりを履いていますが、何とも言えない感触が足裏に伝わり気持ちよく過ごしています。来年度も講座開催を頂き、男女問わず多数の参加があることを願います。

(会員 小山孝雄さん)



清流の里・谷根でバードウォッチング 4月24日(金) 8時30分～11時 参加者4名



谷根川の木にとまるメジロ



谷根川での観察風景

ハナモモの季節を終えた谷根を、谷根川沿いに赤岩ダムへと野鳥のさえずりを聞きながら散策した。

出発してすぐにキセキレイが水面を飛び交い、セグロセキレイもほんの一瞬姿を見せてくれた。幸先のいい水鳥たちのお出迎えであった。新猿飛橋を過ぎたころ、姿は確認できなかったが日本三鳴鳥のオオルリの美しい声をみんなで楽しんだ。

さわやかな清流の里での探鳥会であった。かしわざき野鳥の会の皆様に感謝します。

(事務局)

報告

令和8(2026)年度

第1回 友の会合同委員会を開催しました

令和8年6月10日(水)15時30分～17時00分 参加者：14名

第1回合同委員会では、はじめに令和7年度の事業報告、会計報告、会計監査報告を行いました。4月時点での会員数は119名、通信発行は4回、事業では友の会役員や博物館職員等の協力を得て20行事を開催し、事業参加者合計数は273名でした。令和7年度決算は、令和8年5月16日に会計監査委員の藤巻均・箕輪一博両氏が監査を行い、適正であるとの報告がありました。また、令和8年度の行事計画案、予算案について審議を行い、役員全員の承認を得ました。

令和7(2025)年度 一般会計 決算(単位:円)

収入	
前年度繰越金	298,578
会費	258,000
事業収入	1,156,500
会議費(第1回合同委員会懇親会参加費)	55,000
ミュージアムショップ売上	516,380
繰入金	0
雑収入	5,547
計	2,290,005

支出	
報償費(講師・協力者謝礼)	62,000
委託費(売店商品買受代、1泊見学会旅行会社委託費ほか)	246,860
消耗品費(諸行事材料費、ミュージアムショップ用消耗品)	102,685
食糧費(旅行昼食代)	127,650
印刷製本費(通信印刷代250部×4回ほか)	186,000
通信運搬費(通信郵送代、会費納入通知書送付代ほか)	65,124
使用料(施設入館料、拝観料、駐車場代)	396,060
保険料(賠償責任保険、傷害危険担保契約保険)	29,250
負担金(常設展・プラネタ補助)	32,240
手数料(振込手数料、会費振込手数料ほか)	23,451
会議費(合同委員会懇親会参加費、お茶代)	66,932
賃借料(博物館売店区域借上げ、バス借上げ)	298,464
受託販売(受託販売業者へ支払)	344,417
備品購入	8,720
雑費(見学お礼お菓子代、銀行利子税金ほか)	2,410
予備費	0
特別事業積立金	0
次年度繰越金	297,742
計	2,290,005

令和7(2025)年度 特別事業会計 決算(単位:円)

収入	
前年度繰越金	819,000
(一般会計からの)繰入金	0
計	819,000
支出	
(一般会計への)繰出金	0
予備費	0
次年度繰越金	819,000
計	819,000

令和8(2026)年度 一般会計 予算(単位:円)

収入	
前年度繰越金	297,742
会費	230,150
事業収入	1,230,000
会議費(第1回合同委員会懇親会参加費)	54,000
ミュージアムショップ売上	516,000
繰入金	0
雑収入	3,108
計	2,331,000

支出	
報償費(講師・協力者謝礼)	62,000
委託費(1泊見学会旅行会社委託費、売店商品買受分)	360,000
消耗品費(諸行事材料費、売店消耗品費)	124,000
食糧費(行事昼食代)	143,000
印刷製本費(通信印刷代250部×4回)	190,000
通信運搬費(通信郵送代ほか)	70,000
使用料(施設使用料、1泊見学会宿泊費)	500,000
保険料(賠償責任保険)	30,000
負担金(常設展・特別展・プラネタ補助)	40,000
手数料(振込手数料、会費振込手数料)	30,000
会議費(合同委員会懇親会参加費、お茶代)	85,000
賃借料(博物館売店区域借上げ、バス借上げ)	201,000
受託販売(受託販売業者支払)	450,000
備品購入	0
雑費(訪問先菓子代)	6,000
予備費	20,000
特別事業積立金(特別事業会計へ)	20,000
計	2,331,000

令和8(2026)年度 特別事業会計 予算(単位:円)

収入	
前年度繰越金	819,000
(一般会計からの)繰入金	20,000
計	839,000
支出	
(一般会計への)繰出金	0
予備費	819,000
計	819,000

令和8年度 友の会年間行事スケジュール

第1回合同委員会により、令和8年度の年間行事スケジュールが決定しました。自然や歴史を中心に博物館の学芸員や専門の講師の方々と一緒に楽しめる行事です。友の会会員の方も会員でない方もどなたでも参加できますので、お友達やご家族と一緒にぜひご参加ください。詳しい内容やお申込み方法は友の会通信でお知らせしていきます。

回	月	日	曜日	行事名（※灰色部分は終了）	集合・解散
1	4	24	金	清流の里・谷根でバードウォッチング	上米山コミセン前
2	5	9	土	学芸員のオタク講座⑱ 山城探訪―北条城跡を歩く―	博物館
3		28	土	シリーズ金の道を行く③ 柿崎～高田宿編	博物館下駐車場
4	6	13	土	学芸員のオタク講座⑲ 渚のフォークロア―漂着物(よりもの)をめぐる民俗文化	博物館
5	7	25	土	学芸員のオタク講座⑳ 博物館のウラ側 収蔵資料を守る文化財 IPM	博物館
6	8	29	土	学芸員のオタク講座㉑ 星空に映し出された人々の暮らし	博物館
7	9	21	月	特別解説 極楽寺の虫干し	極楽寺
8		29	火	探訪!となりの博物館(旧巻町・弥彦村) 一角田・弥彦山麓のお宝めぐり―	博物館下駐車場
9	10	20	火	秋の植物観察	夢の森公園駐車場
10	11	5 6	木 金	開館 40 周年記念 1 泊見学会 木喰のふるさと身延町と青木ヶ原樹海散策の旅	博物館下駐車場
11		21	土	学芸員のオタク講座㉒	博物館
12		28	土	渚の宝物① 秋のビーチコーミング	高浜海岸
13	12	17 18	木 金	八丁紙づくり	博物館
14	1	中		ワラぼうきづくり	博物館
15		下		学芸員のオタク講座㉓	博物館
16	2	初		渚の宝物② ビーチグラスのオブジェづくり	博物館
17		下		田村光一さんのそば打ち道場	剣野コミセン
18	3	中		季節の和菓子づくり	剣野コミセン

会長	籠島 浩恵
副会長兼編集委員	田村 光一
副会長兼行事委員	村田 千代子
会計監査兼編集委員	藤巻 均
会計監査兼行事委員	箕輪 一博
行事委員	井貝 征人
行事委員	井倉 香
行事委員	宮路 さつき
編集委員	今井 榮子
編集委員	中村 由紀子

招待券はプラネタリウム鑑賞にもご使用いただけます！



友の会通信 4・6 月号をお送りした際、「今年度より無料招待券は常設展示見学のみ使用可能」とする旨をお伝えしましたが、第1回合同委員会において審議の結果、昨年度同様にプラネタリウム鑑賞にもご使用いただけることとなりました。皆さまのご来館をお待ちしております。

学芸員のオタク講座⑱ 山城探訪 ―北条城跡を歩く―

5月9日(土) 9時～12時 参加者12名

北条に城があったということは以前から知っていましたが、今まで実際に行った事がなかったので今回―北条城跡を歩く―に参加することにしました。

最初に博物館で伊藤学芸員から戦国時代の城の特徴、北条城、毛利氏について学んでから実際に現地へ向かいました。登り口で車を降りて徒歩で山頂の城跡まで移動するのですが、山に登りながら所々で学芸員から戦国時代に城を築くことの大変さ、敵から城を守る為のさまざまな手だての方法などを聞き、実際に目の当たりにして、感心していました。

城跡の広場から日本海、柏崎の街並みが見渡せて、すばらしい時間を過ごすことができました。

「百聞は一見にしかず」まさに実感した研修でした。

(会員 村田千代子さん)



シリーズ「金の道」を行く③ 柿崎～高田宿編

5月28日(木) 9時30分～16時30分 参加者19名



まず柿崎中央海岸では、事務局新人の猪瀬さんが「浜下駄」を実体験。「荒浜、荒砂」の柏崎よりもっと荒い砂、という渡邊学芸員の説明もあり、普通の下駄も用意して来た猪瀬さんは、履き心地・歩きやすさなどを比べていました。海岸近くの街道にある「どんどの池」はきれいな湧き水。「潟町」の道標もあり、近くにある大潟や犀潟、また朝日池、鶴ノ池など、砂丘にある潟湖が県内の鳥屋野潟や佐潟など共通点があるのか、興味も湧きます。春日新田宿では、かつて賑わった馬市跡と馬頭観音を見学。春日神社の阿吽2体の力士像は気迫があり、本殿の石垣に嵌め込まれているのが珍しい。銘板には「刈羽郡悪田村 石工・渡部重一/直廣親子の名も」。

柿崎から高田にかけて平入りの街並みが続きます。長岡や高田などの「雁木」について、ガイドの鈴木さんは「地方によっては、雁木が船着き場の階段のある場所を指すこともある」とのこと。大きな常夜灯で有名な広島県・鞆の浦のテレビ映像を思い出しました。そして国の登録有形文化財、レトロな高田世界館。古い型の2台の映写機はそれぞれ15分間しか映写できず、1本を上映するため2台を交互に15分間ずつ回し、その間を切れ目なく映写するのが、映写技師の腕の見せ所とのこと。そうなのか!?

400年続く高橋孫左衛門商店では、若女将の丁寧な説明を聞く。漱石の「坊ちゃん」に登場する、清さんに因んだ「笹飴」を買って、お土産としました。

(会員 赤川 道夫さん)

事務局 新任 ご挨拶

5月より任用されました猪瀬貴大と申します。生まれも育ちも栃木県です。博物館は大好きですが、学芸員ではありません。これまでは民間企業に勤めてきました。より多くの皆さまに楽しんでいただける友の会にしていきたいので、ご要望などお気軽にお聞かせください。よろしくお願いします。

お申込み方法

参加者募集

行事の申し込みは **7月1日(水)9時から** 受付いたします。 ※休館日は受付できません。

電話で友の会事務局(0257-22-0567)にお申込みください。

その際、参加者全員のお名前、連絡先(できれば携帯番号)、友の会会員か非会員かをお知らせください。



学芸員のオタク講座②
博物館のウラ側
収蔵資料を守る文化財 IPM

収蔵資料を守る取り組みは、表舞台の常設展示室や企画展に比べて、人目にはつきにくい“ウラ側”の仕事です。その実践的な取り組みについて紹介します。

日 時 7月25日(土)
13:30～15:00
会 場 博物館小ホール
講 師 池田孝博学芸員
定 員 15名(先着順)
参加費 無料



学芸員のオタク講座③
星空に映し出された
人々の暮らし

日本の星名や星座の由来、文学や歴史史料に登場する星空を紹介します。後半はプラネタリウムドームで「星の和名めぐり」をご覧ください。

日 時 8月29日(土)
10:00～12:00
会 場 博物館
プラネタリウム
講 師 早川美奈子学芸員
定 員 15名(先着順)
参加費 無料



探訪! とんりの博物館 新潟市西蒲区(旧巻町・弥彦村)
幻の「のぞきからくり」観賞と秘仏「妙多羅天女像」拝観の旅

かつて見世物の代表格であった「のぞきからくり」の特別実演、鬼女・弥三郎婆が善神に変わった「妙多羅天女像」の特別開帳など、角田・弥彦山麓の隠れたお宝を巡ります。

日 時 9月29日(火)9:00～16:30
集 合 博物館下駐車場(大洲コミセン斜め向かい)
見学地 午前:新潟市巻郷土資料館一のぞきからくり実演観賞と毒消し売り解説一、名勝 義経伝説の判官舟かくし(角田浜)、霊場 日蓮ゆかりの七面大天女岩屋、日蓮宗妙光寺(モダンな寺院建築)
昼食:弥彦 割烹吉田屋 名物わっぱ御膳
午後:寶光院(妙多羅天女像・樹齢千年の婆々杉)、弥彦競輪場場内見学(寄り道)、弥彦神社参拝(重い軽いの石など)、道の駅くがみ(トイレ休憩)
定 員 19名(先着順)
参加費 会員8,000円 非会員10,000円(バス代・入館料、昼食代含む)



のぞきからくり



判官舟かくし



重い軽いの石



秘仏 妙多羅天女像

柏崎に夏の到来を告げる風物詩「えんま市」も終わりました。多い年には「えんま市」頃まで残る米山の残雪も、今年は6月に入る前に見えなくなり(見る方角で多少の違いはあると思いますが)あれだけ降ったと思った雪も、短期間では豪雪と感じても冬季というスパンでは小雪の冬だったのかも知れません。

これからは梅雨のジメジメした期間から暑い夏に…エアコンの効いた博物館で展示物やプラネタを観て過ごすのも余暇の過ごし方としてはプランの一つに挙げても良いのかも知れないですね。

(編集委員 富士真樹)

7月～9月の友の会行事案内（追加行事のお知らせ）

お申込み方法

参加者募集

行事の申し込みは **7月1日(水)9時から** 受付いたします。 ※休館日は受付できません。

電話で友の会事務局(0257-22-0567)にお申込みください。

その際、参加者全員のお名前、連絡先(できれば携帯番号)、友の会会員か非会員かをお知らせください。

9月

特別解説 極楽寺の虫干し

市内若葉町にある極楽寺では、毎年9月20日頃から約1週間にわたり、寺宝の虫干しを兼ねた一般公開が開催されます。籠島住職（当友の会会長）のご好意で下記の日程で詳しい解説をいただけることになりました。普段は非公開の貴重な文化財を間近で鑑賞できる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

日 時	9月21日（月・祝）10時～11時
会 場	極楽寺本堂
定 員	15名
解 説	籠島浩恵住職
参加費	無料

主な展示品

江戸時代の僧侶・単瑞（たんずい）上人が制作した緻密な刺繍（ししゅう）の仏画が公開されます。

◎「涅槃（ねはん）像」

縦約4～5メートル、横3メートルの大作。
釈迦が入滅する様子が美しい糸で表現されており、柏崎市の指定文化財です。

◎「観無量寿経曼陀羅

（かんむりょうじゅきょうまんだら）」

完成まで10年を費やしたとされる精巧な刺繍曼荼羅。

その他、国登録有形文化財に指定されている本堂などの建造物と合わせて、約200点の寺宝や仏画が並びます。



涅槃像



観経曼陀羅